

○ 平成29年度生涯学習センター事業運営の考え方

(1) 生涯学習センターの役割と課題

本市の生涯学習センターは、平成29年度で最終年度を迎える第2次宇都宮市地域教育推進計画に掲げる基本理念を実現するため、地域を支える市民が、自己の自立と社会の一員であることを意識し、社会参加への意欲を高めるような事業や学んだ成果を地域につなぐきっかけとなる事業を運営していく役割がある。

こうした中、本市においては、今後見込まれる人口の減少と高齢化率の上昇、社会情勢の変容に伴う家庭と地域の教育力の低下が懸念されており、また、地域づくりに多くの市民が参画するような社会の構築の必要性が高まる中で、災害時の被災者支援など、個人が自発的に活動を行っていきこうとする機運の高まりが見られるものの、一方では、日常生活に必要な地域活動や地域づくりに必要な人材の確保が十分でない状況にある。

こうしたことから、生涯学習センターにおいては「超高齢化社会」、「子育て・子育て環境の変容」、「格差社会や勤労観の変容」、「規範意識・社会性の低下」、「地域コミュニティの変容」など、早急に取り組むべき全市的な課題に対応するための事業を、関係部局や関係機関などと連携を図りながら着実に展開していくことが必要であるとともに、生涯学習センターを拠点としている地域の課題解決や活性化に繋がるような、地域づくりと人づくりに関する様々な事業を地域と一体となって運営する必要がある。

(2) 事業運営のポイント

全ての生涯学習センターの事業運営にあたっては、全市的に対応すべきテーマや対象区域における地域特性、住民ニーズなどを踏まえ、個人の要望に応える事業と社会の要請に応える事業のバランスに配慮しながら多様な事業を推進する。

なお、事業の企画・運営にあたっては、関係部局はもとより、大学、企業などと積極的に連携していくとともに、全ての生涯学習センターがまちづくり機能を有することから、所管する地域に関する事業においては、基本的に地域との共同・共催で取り組んでいく。また、参加者に配慮した開催日時や学習手法、託児の充実など、引き続き事業内容を工夫することにより、より多くの参加者の確保に努める。

※別紙資料…各種生涯学習講座が担う領域のイメージについて

(3) 重点的に取り組む事業

事業運営のポイントを踏まえながら、センターが役割を果たしつつ着実に課題を解決するため、次の4つの事業に重点的に取り組んでいく。

ア 人間力の向上に資する講座の実施

市民一人ひとりが心豊かに生活できるよう、学ぶことの喜びや社会参加のきっかけとなる仲間づくりに繋がる、趣味・教養的な講座を継続的に実施するとともに、地域課題や生活課題に対応する講座の拡充を図っていく。特に、全市的な社会の要請に対応した講座の実施にあたっては、講座のテーマに関する専門知識を有する関係部局との連携や共催、県の事業の活用等、効果的な講座運営に取り組む。

【平成28年度実績】

趣味・教養的な講座内容	207講座	個人の自立を促すための講座内容	118講座
社会の要請に対応した講座内容	184講座		

イ 家庭・地域の教育力の向上に資する講座の実施

「人づくり」の基本となる家庭と地域の教育力の向上を図るため、家庭や親の役割や責任、子どもとの関わり方などについて保護者の気づきを促す講座や親子双方の育ちを支援するための講座を実施する。実施にあたっては子育て中の親の仲間づくりにつながるよう、参加交流機会の充実に努める。

また、地域ぐるみで子どもを育てる意識の醸成を図るため、学校、企業、地域団体や家庭教育支援者とのより一層の連携・協力を図っていく。

【平成28年度実績】※ 青少年及び子育て世代対象事業のみ	
子育て世代対象事業	41講座，196回
	→うち、交流・仲間づくりを目的とした講座 39講座
団体等との連携講座	42講座

ウ 学習情報などの情報受発信の充実

市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、生涯学習センターは地域の学習情報の拠点として、社会的な課題や地域が持つ課題、評価の高い講師情報など積極的な情報収集を行う。

また、学習情報の提供については、「宇都宮市生涯学習情報提供システム」（通称「マナビス」）をはじめ、地域向けの広報や市の広報紙、各種メディアなどの全市的な広報媒体を効果的に活用しながら、各種事業の積極的な情報提供と学習相談の充実に努めるとともに、生涯学習センターの認知度の向上にも取り組んでいく。

【平成28年度実績】	
学習相談件数（来館・電話等）	390件
マナビスにおける情報登録件数（講座・団体・講師情報など）	5,075件

エ 地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進

市民の地域に根差した学習活動を促進するため、各種ボランティア等の養成を推進するとともに、地域資源や地域の魅力を再認識し、地域のまちづくりに対する意識が高まるような地域学講座などを通して、地域社会を支える人材の育成に取り組んでいく。

また、講座企画・運営ボランティアスタッフ（Vスタッフ）をはじめとする、学んだ人材が学習成果や経験を活かせるような活動機会の充実に努めるとともに、マナビスに搭載されている地域人材マッチング機能を効果的・有効的に活用し、地域住民同士や関係団体等をつなぐネットワークの充実に努める。

【平成28年度実績】			
地域理解を目的とした講座	46講座	人材バンク登録者数	529名
人づくりを目的とした講座	39講座	Vスタッフ企画講座数	14講座：10センター

提 言 書

「社会の要請」と 求められる学習について

平成26年10月
宇都宮市社会教育委員の会議

提言にあたり

我々を取り巻く社会環境は、長期にわたる人口減少局面を迎えており、今後、高齢化率の増加や生産年齢人口割合の減少など、少子・超高齢社会への著しい変容が見込まれている。経済環境については、政府は日本経済の持続的な成長を確固たるものにすべく、平成26年6月に『「日本再興戦略」改訂2014』を閣議決定し、企業の収益水準・生産性の向上や女性のさらなる活躍促進などに断固たる決意で取り組んでいるところである。このような中、新興国における産業基盤の蓄積に伴う国内産業の競争力の低下、非正規雇用比率の増加に伴うワーキングプアといわれる若者の増加、消費税率の引き上げに伴う個人消費の反落など、持続的経済成長社会の実現を期待しているにもかかわらず、不安的要素も払拭できない状況である。

宇都宮市においても、総人口は平成29年にピークを迎えた後、人口減少に転ずるものと予測されており、平成42年には、65歳以上の高齢者の割合が29%に達する見通しとなっている。行政では、このような人口減少時代の到来を見据えた上で「第5次宇都宮市総合計画」を策定し、「みんなが幸せに暮らせるまち」「みんなに選ばれるまち」「持続的に発展できるまち」の実現をまちづくりの目標として掲げ、魅力あふれる宇都宮の構築に向けて取り組んでいる。

我々は、宇都宮市の社会教育委員として、こうした社会・経済環境の変化を踏まえながら、一人ひとりが豊かな人生を送れる社会を構築するためには、社会教育・生涯学習の振興を通じた「人づくり」が緊要であると考えている。

社会教育・生涯学習の振興を通じた「人づくり」とは、「社会の多様性を尊重しつつ、幅広い知識や柔軟な思考力、課題を解決する力（自立した個人としての力）」とともに「社会性や公共性、豊かな人間性など、個々人が社会の中で他者と連携・協働しながら様々な課題や問題を乗り越えていく力（社会を構成し、運営する力）」の養成である。

これらの「人づくり」を、迅速かつ的確・着実に推進するためには、多くの市民が解決していかなければならない社会的課題や、それらを解決する上で必要な学習について、教育行政に携わる社会教育委員として、それぞれの立場から議論・検討し、方向性を導くことに、大きな意義があると考えている。

このようなことから、社会教育委員の総意として、本市において可及的速やかに取り組むべき学習課題、いわゆる『「社会の要請」と求められる学習について』ここに提言する。

〔提 言〕

1 「社会の要請」の高まり

近年の社会・経済環境の変化を背景として、特に以下に述べるような課題において早急な対応が必要である。

(1) 「超高齢社会」への対応

急激な高齢化の進展の影響は、医療や介護、年金等の社会保障制度の対応が大きな課題であるだけでなく、高齢世帯の増加や高齢者の一人暮らしによる社会的孤立、活躍場所の不足など、地域社会における身近な課題としてあらわれている。

(2) 「子育て・子育て環境の変容」への対応

少子化や核家族化、また高度情報化などの社会状況が、地域社会などにおける子どもの育ちをめぐる環境や、家庭における子育て環境を変化させている。また、これにより、子ども同士が遊びに集中し、互いに影響しあって活動する機会の減少など、人間関係の希薄化や体験活動の不足により、自立意欲や社会適応力に欠ける青少年の増加が懸念される。

(3) 「格差社会」や「勤労観の変容」への対応

家庭の社会経済的背景が、その後の就労をはじめとした「格差」や「貧困」などにもつながるとの指摘がされており、子どもの将来や老後の生活に不安や孤立を感じ、悩みを抱える家庭が増えている。また、雇用情勢の変化の影響が、若者の勤労意欲や社会の活力低下につながることで問題となっている。

(4) 「規範意識・社会性の低下」への対応

家族形態の変容や都市化、情報化の急速な進展、価値観やライフスタイルの多様化を背景として、近所づきあいなどの住民同士の交流に対する意識が希薄になっている。また、これにより、地域における歴史・文化の継承の途絶や、地域社会における規範意識の低下が問題となっている。

(5) 「地域コミュニティの変容」への対応

地域における人のつながりや連帯感、支え合いの意識の希薄化は、地域コミュニティにおける互助・共助機能の低下を招くだけでなく、若い世代の地域活動への参加率低下や多様化する地域の課題に関心を持たない、積極的に関わろうとしない大人の増加など、地域コミュニティの自治機能を衰退させる原因となっている。

2 必要とされる学習

これらの課題に対して、必要とされる学習は以下のとおりである。

※（ ）は関係する課題

(1) 子ども・青少年に関わる課題に対する学習

多様な体験活動

(「子育て・子育て環境の変容」, 「規範意識・社会性の低下」)

子ども・青少年においては、様々な学習を積み重ね、多くの人との出会いを通して、成人としての自己を築く時期であり、学校、家庭、地域が相互に連携・協力し、ボランティア活動や体験活動、世代間交流の促進など、子どもたちが社会に関わる多様な体験活動の機会を創出していくことが必要である。

こうした課題に対する学習において最も大切なことは、人間同士の直接の触れ合いである。実社会においては、生活体験・社会体験・自然体験などのあらゆる場面における直接体験こそが重要であるとともに、体験活動を通して「思いやり」や「礼儀正しさ」など、日本人が古来大切にしてきた規範意識や道徳心の醸成も図っていく必要がある。

職業観・勤労観の醸成

(「格差社会」や「勤労観の変容」)

青少年が職業に就き、社会経済的に自立することは、社会を生き抜く上での基盤であるとともに、社会にとっても持続的な発展を続ける上で欠かせないものである。雇用情勢が不安定となる中、行政においては、学校や企業など多様な機関と連携を図りながら、青少年の職業観・勤労観の育成や職業に関する知識・技術等の習得を支援することが必要である。

(2) 成人に関わる課題に対する学習

子育て支援、家庭教育支援

(「子育て・子育て環境の変容」, 「格差社会」や「勤労観の変容」)

格差の進行や貧困など、家庭を巡る状況の変化は、個々の家庭の頑張りや努力だけでは対応が難しい社会的問題となっており、こうした課題にあたっては、行政においては、教育分野と福祉・労働・保健等の各分野が連携・協力し、親子の育ちを一層支援していくことが必要である。

大人の道徳観の醸成

(「規範意識・社会性の低下」, 「地域コミュニティの変容」)

周囲の人や地域とのつながりを持たない大人が増加しており、大人自身の気づきや意識の変容が必要である。地域社会を構成する一員としての責任や役割を自覚し、子どもや他の大人の模範となれるよう、モラルやマナーなど規範意識を高めるとともに、道徳観の醸成を図る取組を一層推進していくことが必要である。

(3) 高齢者に関わる課題に対する学習

豊かな人生に向けた多様な学習の提供

(「超高齢社会」)

高齢者がリタイア後の人生を明るく安心して生活するためには、健康で生きがいのある生活と地域社会との関わりが必要である。こうしたことから、高齢者に対する学習については、生涯学習センターなどの地域の様々な関連施設が、コミュニティビジネスを含めた高齢者の生きがいの創出につながる講座や、近年大きな問題となっている高齢者を狙った特殊詐欺に関する講座など、多様な学習プログラムを企画・提供することが必要である。

高齢者の学習については、身体的事由や意欲の低下など、学習活動の参加が困難な場合もあることから、積極的な学習機会の提供や学習者の興味・関心を呼び起こすための啓発活動など、きめ細かい配慮や工夫が必要である。

(4) 地域住民に関わる課題に対する学習

地域コミュニティの強化

(「超高齢社会」、「規範意識・社会性の低下」、「地域コミュニティの変容」)

生活環境の整備や防犯・防災など、個人の力では解決できない様々な地域の課題に対応していくためには、日頃から地域の住民同士がつながりを持ち支え合い、助け合う「互助」・「共助」の関係のある地域コミュニティの構築が必要である。特に、超高齢社会の到来により、地域コミュニティの役割や期待は益々高まってきており、地域における様々な課題の解決を目的としてコミュニティが結びつき、多様性のある地域コミュニティの形成が必要である。

行き過ぎた個人主義の風潮や社会全体のつながりの希薄化等が問題となっている近年においては、郷土愛の醸成や地域学講座など、今一度住民が地域に目を向け、地域と向かい合うことができる取組を通して、地域コミュニティの強化を図ることが必要である。

3 おわりに

この提言は、冒頭でも述べたように、社会教育・生涯学習の振興を通じたこれからの人づくりを推進していく上で解決していかなければならない社会的課題や、必要な学習について議論・検討し、とりまとめたものである。

人づくりにおいては、教育委員会に限らず、市役所の他部局や関係機関などにおいても様々な取組が展開されており、それらの連携・協働は相当に進んでいるものの、急速な社会・経済環境の変化における社会的課題の解決に向けた、多様な主体との連携・協働は、必ずしも十分に進んでいるとは言い難い状況であると考えている。

今後、社会教育行政が、社会教育・生涯学習の役割を各地域において目に見える形で示していくためには、地域住民の絆の構築、地域コミュニティの形成、地域課題の解決といった地域の総合的な課題に対応できるよう、地域の多様な主体との連携・協働によるネットワークの構築を一層推進していくことが必要であり、行政においては、本提言を踏まえ関係部局が連携し、効果的な取組が推進されることを期待し、提言するものである。

宇都宮市社会教育委員

上野 修一, 吉田 治, 宇賀神 貴, 勝田 健一, 刀川 啓一,
伊藤 三千代, 今井 政範, 小池 操子, 福田 治久, 廣瀬 隆人,
櫛渕 澄江, 河田 隆, 坂本 宏夫, 佐々木 一隆, 荻野 久一,
山尾 貴則, 橋本 裕文, 高橋 美幸, 清島 康伸, 小平 美智雄

(順不同)

7 生涯学習センター（平成29年度基本方針・重点事業・事業計画）

（1）中央生涯学習センター



所在地 宇都宮市中央1丁目1番13号

電話番号 028-632-6331

ファクス 028-639-7579

開設 昭和44年 4月 1日

対象区域 市域全体及び

中央・東・西・築瀬・西原・
昭和・錦・宮の原小学校の
各通学区域

ア 平成29年度 中央生涯学習センター基本方針

中央地区における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個々人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。

- （ア）子育て・子育て環境の変容や超高齢化社会などの社会情勢の変化に対応するとともに、市民ニーズに応じた魅力ある学習機会の提供に努める。
- （イ）人材かがやきセンターに登録しているVスタッフからの企画提案を活用し活動の場を提供するとともに、様々な角度から生涯学習を推進する。
- （ウ）所管する8地域のそれぞれの特性に応じた生涯学習講座の支援を通して、まちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用に努める。

イ 平成29年度 中央生涯学習センター事業計画

事業名に★が付いているものは平成29年度新規事業、◎が付いているものは平成29年度重点事業、ゴシック体で表記のものはVスタッフ企画運営講座、【CKP】は地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する講座の実施	青少年教育					
	親子のワクワク体験教室	親が子どもと一緒に体験や活動することを通して、子どもの成長を感じ、理解を深めるとともに、他の親子との交流を図りながら、仲間づくりや情報交換する機会を提供する。	市内在住の小学生とその保護者	7月～	5回	
	★子ども映画鑑賞会	大きなスクリーンによる優れた映画作品の鑑賞をとおして、子どもたちの豊かな情操と高い映像理解能力を育むとともに、映画という偉大な文化芸術遺産の素晴らしさ、楽しさを知ってもらう。	市内在住の小学生	未定	1回	
	成人教育					
	金曜まなび塾	行政各課や市民との連携、協力により、各課、団体が実施する幅広い分野等、市政及び身近な問題への理解を深める学習機会を提供することにより、生涯学習の推進を図る。	市内在住・在勤の一般成人	7月～	11回	
②家庭・地域の教育力の向上に資する講座の実施	修道館アカデミー (Vスタッフ企画運営講座)	市民目線から現代の社会情勢を的確に捉え、必要とされる生涯学習講座の企画立案から広報、実施までの講座運営を担う機会と場を提供し、生涯学習を推進する。	市内在住・在勤の一般成人	【前期】 5月 【後期】 11月	各4回	
	★◎(仮称)高齢者現代セミナー	超高齢化社会に対応するため、健康寿命の延伸や、心豊かに安全で安心に年齢を重ねていけるよう、学習機会を提供する。	市内在住の65歳以上の一般成人	1月～	5回	
	子育て広場 (1回のみVスタッフ企画運営講座)	子育ての学習やレクリエーションを通して親子のふれあいを深めるとともに、仲間づくりや情報交換の場として親子同士の交流を育む。また、子育て相談の機会を提供する。	乳幼児(0～6歳)とその保護者	5月～	10回	
③学習情報などの情報発信の充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域活動団体などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時	
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	学習相談・地域支援					
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	全市民	通年	随時	
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	地域応援講座	地域の実情に沿った講座を地域コミュニティセンターで開催することで、地域住民が地域活動に関心を持つきっかけづくりとする。	所管する8地域内の一般成人	未定	16回	
	中央生涯学習センター文化祭	中央生涯学習センターを利用する文化団体の相互交流を図り、日ごろの学習成果を発表することにより、参加者のみでなく一般市民へ広く周知するとともに、生涯学習を推進する機会とする。また、担当の地域コミュニティセンターで活動する団体へも参加を促し、交流を図る。	中央生涯学習センター利用団体、地域コミュニティセンター利用団体及び一般市民	10月	1回	
成人式	新成人が地域のひととともに成人式を作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日		

(2) 東生涯学習センター



所在地 宇都宮市中今泉3丁目5番1号

電話番号 028-638-5782

ファクス 028-638-1171

開設 昭和53年 4月 1日

移転 平成22年 4月 1日

対象区域 今泉・峰・泉が丘・石井・御幸・
城東・陽東・御幸が原小学校の各
通学区域

ア 平成29年度 東生涯学習センター基本方針

東部地区における生涯学習の拠点として市民の学習活動を支援するとともに、社会教育やまちづくりなどを通して、地域に学習成果を還元できるよう事業を推進する。

(ア) 多様な市民ニーズや様々な社会情勢，課題に対応した魅力ある事業の展開を図る。

(イ) 講座企画運営スタッフや地域ボランティアの活動の機会・場の提供を行い、地域の自主的な学習と教育力の向上を目指す。

イ 平成29年度 東生涯学習センター事業計画

事業名に★が付いているものは平成29年度新規事業、◎が付いているものは平成29年度重点事業、ゴシック体で表記のものはVスタッフ企画運営講座

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する講座の実施	青少年教育					
	子ども国際理解サマースクール	外国人留学生と身近に接する参加型の学習を通して、「国際理解・協力」の力を養う。宇都宮大学国際学部との連携事業。	小学4～6年生	8月	3回	
	成人教育					
	ふれあい塾 (Vスタッフ企画運営講座)	講座企画・運営ボランティアスタッフ「東泉会」が企画・運営する講座。 受講生同士の話し合いの場を設け”聞く、見る学習の場”から”聴く、考える、話し合う学習の場”を推進する。	一般成人	5月～12月	8回	
	◎東雲塾 (Vスタッフ企画運営講座)	高齢者が明るく健康で充実した生活を送ることができるよう歴史や文化を学ぶほか、軽体操、レクリエーションなどを体験する。 身近な地域について学ぶことにより、地域に対する理解を深め郷土愛の醸成を図る。	一般成人	H29.6月～ H30.1月	8回	
②家庭・地域の教育力の向上に資する講座の実施	家庭教育					
	親子でDoing	親子の会話、工作や体験を通して親子のスキンシップを図りながら、ものづくりについて学ぶ。	小学3、4年生とその保護者	5月～8月	6回	
	すくすく子育て講座	乳幼児の時期に親子のスキンシップを図るとともに、子育ての学習やレクリエーションを通して、受講者同士の交流を深める。 また、子育て相談や子育てに関する知識を学ぶ機会を提供する。	就学前の乳幼児と保護者	5月～9月 H29.10月～ H30.9月	12回	
③学習情報などの情報受発信の充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、収集した生涯学習関連情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
	学習相談・地域支援					
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動を支援する。	全市民	通年	随時	
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	東生涯学習センター文化祭	東生涯学習センター及び地域コミュニティセンター登録団体に学習成果発表の場を提供することにより、親睦を図り、仲間づくりを進め、さらに質の高い生涯学習活動を推進する。	東生涯学習センター登録団体及び一般(地域住民)	10月	1回	
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	

(3) 西生涯学習センター



所在地	宇都宮市西一の沢町 17 番 32 号
電話番号	028-648-7480
ファクス	028-648-8241
開設	昭和 59 年 4 月 1 日
対象区域	富士見・桜小学校の各通学区域 及び明保小学校通学区域のうち 鶴田町の区域

ア 平成 29 年度 西生涯学習センター基本方針

平成 29 年度生涯学習センター事業運営の考え方に基づき、市民一人ひとりが自己の自立と社会の一員であることを意識し、社会参加への意欲を高め、学んだ成果を地域につながるきっかけになるよう、個人の要望と社会の要請に応える事業のバランスに配慮しながら、関係部局や関係機関等と連携し、地域特性を生かした多様な事業を推進する。

- (ア) 人間力の向上に資するため、社会生活において、市民が心豊かに生活できるような趣味・教養的講座及び、個人の自立を促すための地域課題や生活課題に対応する講座を実施する。
- (イ) 家庭と地域の教育力の向上に資するため、地域団体等との連携を図り、知識や技術を習得でき、親子の触れ合いや親同士の交流の機会を充実させた親子双方の育ちを支援するための講座を実施する。
- (ウ) 地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進を図るため、館外学習の機会などを設け、地域の持つ魅力や課題に気づくきっかけとする講座を実施する。また、学んだ人材が学習成果や経験を活かせるような機会と場を提供する。

イ 平成29年度 西生涯学習センター事業計画

事業名に★が付いているものは平成29年度新規事業、◎が付いているものは平成29年度重点事業、ゴシック体で表記のものはVスタッフ企画運営講座、【CKP】は地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業の概要					
	事業区分	事業名	内容	対象	時期	回数
①人間力の向上に資する講座の実施	青少年教育					
		子ども映画会	夏休み期間中にアニメーション映画を上映することで、映画への興味関心を高めるとともに、子どもの豊かな情操を培っていく。普段生涯学習センターを利用していない幼児児童とその保護者に生涯学習への関心を高めていく。	主に桜・富士見・明保地域内幼保小学生	8月	1回
		★わくわくサマースクール	夏休みを利用して普段なかなかできない様々な分野の体験学習をし、好奇心や創造力、思考力を培う。また他校の仲間との交流を深め、社会性を育てる。	市内小学校4～6年生	7～8月	5回
	成人教育					
		シニア快活！元気講座（Vスタッフ企画運営講座）	体を動かしたり、脳を活性化していくさまざまな参加体験型学習をおとして、体と心をリフレッシュしていくとともに、受講者同士の交流・仲間づくりをおとして、シニア世代がいつでも元気で快活にすごすことに繋げる。	50歳以上の成人	6～12月	6回
		西楽アカデミー	生きがい学習や健康についてなど現代の生活に必要な知識の向上に関する学習を行うとともに、運動を伴ったレクリエーションや館外学習を通して受講者同士の交流を深める。	一般成人	6月～12月	8回
		◎宇都宮再発見！	宇都宮に関する歴史や文化を学ぶことにより、自分の住むまちへの愛着を深めるとともに、まちづくりを担うなど地域社会を支える人材を育成する。	一般成人	6～9月	4回
	ふれあい映画会	心に残る傑作映画を視聴することにより、豊かな感性を醸成していくとともに、これまで生涯学習センターを利用したことが無い様な市民など、より多くの地域住民に生涯学習への関心を抱いてもらう。	桜・富士見・明保地域内の方	8月	1回	
②家庭・地域の教育力の向上に資する講座の実施	家庭教育					
		すくすく子育て講座	子育ての学習やレクリエーションを通して親子のふれあいを深め、仲間づくりや子育ての情報交換の場となるよう子育てを支援する。	1歳～3歳の幼児とその保護者	6～12月	6回
		親子でGO！	レクリエーションや工作、館外学習など様々な体験を通し親子の絆を深めながら、子供の心を育むために役立つ知識や技術を学習・習得することにより家庭の教育力向上を図る。	小学校1年生～3年生とその保護者（市内在住・通学）	6～10月	5回
③学習情報などの情報発信の充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、収集した生涯学習関連情報を市民に提供していく。	全市民	通年	随時	
	学習相談・地域支援					
学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	全市民	通年	随時		
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
		富士見地域コミュニティの促進【CKP】	地域のニーズに沿った課題の解決と地域住民のコミュニティの関りの強化。	富士見地区住人対象	2月	1回
		★明保地域講座【CKP】	生活交通確保や空家対策など、明保地域のまちづくり活動への理解と参加を促す。	明保地区住人対象		
		わがまち桜地区の魅力を知ろう！【CKP】	自分たちが住むまちについてより一層理解を深め、地域への愛着心をより高めるとともに、まちづくりのさらなる推進を図る。	桜地区住人対象	2月	1回
		西生涯学習センター文化祭	西生涯学習センター利用者などの各種団体や地域・学校・企業が一体となって事業を展開することにより、特色ある地域文化の向上ならびに生涯学習の推進、地域住民の連帯意識の高揚を図ることを目的とする。	西生涯学習センター利用者及び一般市民	11月	1回
	成人式	新成人が地域のひととともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	

(4) 南生涯学習センター



所在地 宇都宮市江曾島2丁目4番23号

電話番号 028-645-0006

ファクス 028-659-9953

開設 昭和46年 4月 1日

対象区域 陽南・陽光・緑が丘小学校の各通
学区域五代・新田・姿川第一小学校
の各通学区域の一部

ア 平成29年度 南生涯学習センター基本方針

「平成29年度生涯学習センター事業運営の考え方」に基づき、地域住民の生涯学習ニーズや全市的な課題に応じた学習支援をするとともに、地域の学習情報拠点としての充実を図る。

- (ア) 住民主体のまちづくりが円滑に進むための支援事業に取り組む。
- (イ) 増加する高齢者の生きがい創出につながる講座や、子育て世代の不安を解消し、親子双方の成長を促す講座、豊かで実りある生活設計のための講座など、多様な学習の提供。
- (ウ) 地域でのボランティア活動や、地域のまちづくり活動を支援し、学習の成果や経験を活かせる機会と場の提供などに努める。

イ 平成29年度 南生涯学習センター事業計画

事業名に★が付いているものは平成29年度新規事業、◎がついているものは平成29年度重点事業、ゴシック体で表記のものはVスタッフ企画運営講座、【CKP】は地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する講座の実施	青少年教育					
	★4次元デジタル地球儀を楽しまう	4次元デジタル地球儀により地球や惑星について立体的に体感し、科学や理科について自分で探究するきっかけづくりを目指す。	市内在住の小学生とその保護者	8月	1回	
	親子で学ぶ読書感想文の書き方講座	夏休みの読書感想文の書き方を親子で学ぶことにより、親子で一緒に読書の楽しさを学び、本に親しむ心を育む。	市内在住の小学生とその保護者	7月	1回	
	親子で楽しむデザート作り講座	簡単に出来るデザートを、親子で協力しながら作る方法を学習する。	市内在住の小学生とその保護者	8月	1回	
	プログラミング入門講座	平成32年度より小学校で必修科目となるプログラミングの基礎を学び、創造力・問題解決能力・論理的思考力を身に付ける一助とする。	市内在住の小学生	8月	4回	
	成人教育					
	★暮らし彩り講座～今日から始める断捨離ライフ～	過剰なモノを手放す「断捨離」の考え方を通じて、今までの生活習慣を見直し、自分らしくすっきりと気持ちの良い生活を送るための工夫について学ぶ。	市内在住の成人	9月・10月	2回	
	◎シニアセミナー南悠塾(Vスタッフ企画運営講座)	シニア世代の受講者が、交流をはかりながら教養を深め、充実した毎日を過ごすことができるような学習を行う。	市内在住の60歳以上の成人	6月～12月	7回	
	プロ直伝「おいしいドリップ珈琲入門」講座	一般家庭でも馴染みのある珈琲についての知識を深め、家庭でもおいしく淹れることの出来る方法を身に付ける。	市内在住の成人	4月～6月	3回	
	男の料理講座(Vスタッフ企画運営講座)	男性の料理を通じた、仲間づくりと生涯学習への動機づけを図る。	市内在住の成人男性	10月～2月	5回	
②家庭・地域の教育力の向上に資する講座の実施	家庭教育					
	すくすく子育て応援講座(前期)	親子の触れ合いを深めて、同じ立場にいる親同士が育児の悩みや楽しさを分かち合いながら仲間づくりやお互いの交流を図る。	市内在住の首すわり～1歳前後の子どもとその保護者	5月	2回	
	すくすく子育て応援講座(後期)	ふれあいやものづくりを通して親子の絆を深め、生き生きとした親子関係を育み、子育て世代の仲間づくりのきっかけとする。	市内在住の親子 2～3歳児とその保護者	10月～12月	4回	
	◎ママのアンガーマネジメント入門講座(対象:未就学児ママ)	子育て中の母親が感じているイライラに上手に対応する方法を学び、よりよい親子関係の構築へのきっかけづくりを目指す	市内在住の未就学児の保護者	6月	1回	
	ママのアンガーマネジメント入門講座(対象:思春期ママ)	子育て中の母親が感じているイライラに上手に対応する方法を学び、よりよい親子関係の構築へのきっかけづくりを目指す	市内在住の小学校高学年～高校生の子どもの持つ保護者	9月	1回	
③学習情報などの情報受発信の充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
	学習相談・地域支援					
学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	全市民	通年	随時		
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	地域づくり講座	これまでの人生で培った知識を活かし、地域のまちづくりに貢献するための技術を学習し、地域デビューのきっかけとする。	市内在住の成人	7月	2回	
	南生涯学習センター文化祭	地域住民やセンター利用者が一致協力して、関連事業を展開することにより、特色ある地域文化の発展並びに生涯学習の理解と推進、地域住民の連帯意識の向上を図る。	南生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	
	成人式	新成人が地域住民とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	

(5) 北生涯学習センター



所在地 宇都宮市若草3丁目12番25号

電話番号 028-621-7745

ファクス 028-622-7093

開設 昭和57年 4月 1日

対象区域 戸祭・細谷・宝木・西が岡・
上戸祭小学校の各通学区

ア 平成29年度 北生涯学習センター基本方針

急激に社会環境が変化する現代において、学びを通して豊かな人間性を育むとともに、人と人との絆を深め、住みよい地域社会づくりを推進するため、人間力や家庭・地域の教育力の向上及び地域社会を支える人材育成に資する事業に取り組んでいく。

(ア) 人間力の向上に資するため、学ぶことの喜びや仲間づくりにつなげるための趣味・教養的な講座や社会の要請に対応した講座を開催し、個人の資質の向上を図る。

(イ) 家庭と地域の教育力の向上に資するため、「人づくり」の基本となる家庭教育の充実を支援する講座を開催するとともに、地域ぐるみで子どもを育てる意識の醸成を図るため、地域を構成する各主体との一層の連携協力を図る。

(ウ) 地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進に資するため、青少年リーダーの育成や地域学等の講座を開催するとともに、学んだ成果や経験を生かせるような場の提供に努め、地域の人的資源の育成を図る。

イ 平成29年度 北生涯学習センター事業計画

事業名に★が付いているものは平成29年度新規事業、◎が付いているものは平成29年度重点事業、ゴシック体で表記のものはVスタッフ企画運営講座、【CKP】は地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する講座の実施	青少年教育					
	青少年リーダー研修会	企業等の活動を学ぶことを通して職業観を養うとともに、協調性・たくましさ・思いやりのある心豊かな人間性や社会性を育み、次世代を担う地域のリーダーとしての資質を養う。	小学4年～6年	8月	1回	
	子ども映画鑑賞と昔あそび体験講座	映像からの学びとともに、普段体験できない昔遊びを体験することで子供たちの情操教育を図る。さらに、センターを地域の身近な施設として感じてもらうきっかけとする。	小学生	7月	1回	
	成人教育					
	北洲塾 (Vスタッフ企画運営講座)	環境・健康・地域・生活等について知識を深め、学んだことを家庭や地域に生かすとともに、地域社会への参加の輪を広げていく。	一般成人	5月～11月	10回	
	聴いて読む名作Part7	文学作品を講師の朗読で鑑賞し、作品をより深く味わうとともに、心豊かな人生につながるような新たな感じ方・捉え方を学ぶ。	一般成人	10～11月	3回	
	◎男の和文化入門	男性参加の機会が少ない伝統文化(茶道・華道・香道など)を楽しく学び・体験することを通して日本人の精神に触れ、和の心をもったコミュニケーション力を養い、地域デビューへの一助とする。さらに地域で活動するサークルに講師になっていただき、活動の場も創出する。	成人男性	5～6月	5回	
②家庭・地域の教育力の向上に資する講座の実施	家庭教育					
	◎新・家族応援講座Ⅰ・Ⅱ	未就学児をもつ親への子育て支援を行う。幼児期に育てたいことや親としての心得等について、専門的知識を有する講師の指導を受けながら学ぶ。また、小学校入学前までに家庭で行っておきたい養育や小学校教育の概要について学び、早い時期からゆとりをもって家庭教育に取り組めるようにする。	乳幼児とその親15組	【前期】6月 【後期】10月	【前期】3回 【後期】2回	
	親子でチャレンジ	ふくべ細工や黄ふな作り、世界の国々の料理作りなどを親子で協力し合いながら体験する。それらの活動を通して、伝統工芸や国際理解に触れる機会とする。	小学1～3年の子どもとその親	7～8月	2回	
	北生涯学習センター 親子自然探検隊	地域の未来を担う世代(子育て世代とその子ども)が、専門家の指導の下地域の自然に触れ、保全グループと交流しながら生物多様性の大切さを知り、守ることを知る機会とする。	小学生以下の親子	4～1月	5回	
③学習情報などの情報発信の充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
	学習相談・地域支援					
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	全市民	通年	随時	
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	◎地域を学ぶ ～外部の眼から見た戸祭・細谷・宝木～	4年間学んできた地域の情報を、地元の資源や情報を収集・発信している専門機関(下野新聞・県立博物館など)の眼を通して掘り下げる。	一般成人	10～11月	3回	
	★戸祭地区地域学講座【CKP】	戸祭地区地域ビジョンの策定に向けた意識の醸成を図るため、戸祭地区において住民を対象とした地域学講座を開催し、フィールドワークやワークショップを通して住民の地域理解の促進やビジョン策定等の地域まちづくり活動に資する人材を育成する。	戸祭地域一般成人	6月～2月	2回	
	北生涯学習センター文化祭	北生涯学習センターを拠点に活動している団体等の学習成果の発表の場を提供する。	北生涯学習センター利用団体及び一般市民	9月	1回	
	成人式	新成人が地域のひととともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	

(6) 平石生涯学習センター



所在地 宇都宮市下平出町 158 番地 1

電話番号 028-660-1964

ファクス 028-689-2814

開 設 昭和 25 年 1 月 26 日

施設複合化 平成 14 年 6 月 24 日

対象区域 平石中央・平石北小学校
の各通学区域

ア 平成 29 年度 平石生涯学習センター基本方針

平石地区においては、地域の各種団体や小中学校等と共催した事業をおこなっているが、全般的に活動従事者の固定化、高齢化が顕著であり、新たな人材の発掘・育成が急務となっている。こうしたことから、子どもから高齢者に至るまで幅広い世代を対象に、地域の魅力や地域の課題、さらには現代的課題への関心の喚起を促し、地域活動への参加や地域リーダーとしての育成に結びつくような事業の充実を図る。

さらに、当地区は、保健福祉の拠点地区としての利点を活かし、まちづくり支援グループと保健福祉グループとが連携の下、石井・陽東地区との融合を図った事業を展開していく。

イ 平成29年度 平石生涯学習センター事業計画

事業名に★が付いているものは平成29年度新規事業、◎が付いているものは平成29年度重点事業、ゴシック体で表記のものはVスタッフ企画運営講座、【CKP】は地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業の概要				
	事業区分 事業名	内容	対象	時期	回数
①人間力の向上に資する講座の実施	青少年教育				
	★少年ふるさと教室 (Vスタッフ企画運営講座)	様々な体験活動を通して、仲間との関わりを深め、生きる力を育むとともに、地域資源の発見や異世代との交流を通して、リーダーとしての資質向上を図る。	地域内小学生	8月～10月	2回
	成人教育				
	大人の教養講座	平石地区の歴史や伝統文化を学び、郷土をより深く探求するとともに、受講生同士の交流をとおして、仲間づくりに繋げる。また、重要な課題となっている地域に必要な人材を確保・育成するという面からも、地域デビューのきっかけづくりの場とする。	地域内に居住する成人等	10月	3回
	高齢者友遊教室	高齢者にふさわしい講話、趣味や教養を身につけるための学習、異世代間交流などの機会を創出する。	地区内の高齢者	5月～2月	9回
	高齢者指導者研修	地域リーダーとしての資質の向上や後進の指導者育成を行う。	地区内の高齢者	5月	1回
	女性指導者研修	地域リーダーとしての資質の向上やまちづくり活動の推進を図る。	地区内の女性	5月	1回
②家庭・地域の教育力の向上に資する講座の実施	家庭教育				
	親子ふれあい講座	連続した講座を開催することにより、母親相互の交流を図るとともに、親子が一緒に遊びや体操を行なうことで幼児期に必要な親子の関わり方を学ぶ。	地区内の2～3歳の幼児を持つ親とその子	7月	3回
	◎親子の広場「はぐはぐ」	子育て中の親とその子どもを対象に「つどいの場」を週1回開催、サポーターが話し相手になる。月1回子育て支援事業を実施する。	地区内の主に乳幼児(0～3歳)を持つ子育て中の親とその子	4月～3月	10回
	家庭教育セミナー	成長著しい小学生の子を持つ親を対象として、子どもの「生きる力」を育むための知識や技術を身につける。	地区の親又は家庭教育に関心を持つ人及び児童、生徒	6月～10月	3回
③学習情報などの情報受発信の充実	情報収集・提供				
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時
	学習相談・地域支援				
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	全市民	通年	随時
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進				
	平石地区文化祭	小学生の作品展示、及び平石生涯学習センター利用団体による学習成果の発表。また、参加することにより、地域住民との連帯意識高揚を図る。	平石生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることに伴い、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日

(7) 清原生涯学習センター



所在地 宇都宮市清原工業団地 15 番地 4

電話番号 028-667-5696

ファクス 028-667-9062

開設 昭和 26 年 8 月 1 日

施設複合化 平成 3 年 4 月 1 日

対象区域 清原中央・清原南・清原北・
清原東小学校の各通学区域

ア 平成 29 年度 清原生涯学習センター基本方針

少子高齢化や核家族化の進行など社会環境の変化に伴い、住民のコミュニティ意識の希薄化、地域まちづくりへの理解・担い手の低迷など、まちづくり・人づくりに係る課題について、地域自らが主体的に解決を図れるよう、清原地区における以下のような特性を踏まえ、的確な学習機会の提供を図ることとする。

- 「ゆいの杜地区」の開発が進み、若年層（子育て世代）を中心に人口が急増している中、子育て世帯の不安解消や地域との絆づくりなどをおし、地域のコミュニティ形成の促進、家庭や地域の教育力の向上を図るために必要な事業を展開する。

- また、既存団地などにおいては住民の高齢化も進んでおり、さらには間近に迫った L R T 導入を見据えた地域内交通の充実など、新たなまちづくりに取り組んでいく必要がある。こうした地域の変化に伴う課題に適切に対応するために、地域の特性や各世代における住民の学習ニーズを的確に把握し、地域団体や地元大学、企業等との連携など地区内の社会資源を活用して、地域課題の解決、人材育成に資する事業の充実を図ることとする。

イ 平成29年度 清原生涯学習センター事業計画

事業名に★が付いているものは平成29年度新規事業、◎が付いているものは平成29年度重点事業、ゴシック体で表記のものはVスタッフ企画運営講座

重点項目	事業の概要					
	事業区分	事業名	内容	対象	時期	回数
①人間力の向上に資する講座の実施	青少年教育	チャレンジ遊び塾	子どもを対象に日常生活や学校では体験できない「遊び」を通じて、自然のすばらしさ、学ぶ楽しさを体験してもらうことで、豊かなチャレンジ精神を育む。	地域内小学生とその保護者	7月～2月	4回
		地域体験キャンプ	青少年育成協議会、地域学校園協議会、センター共催による実行委員会を組織し、地区内の青少年育成に関わる指導の横断的な連携により事業を実施する。 参加者は、キャンプを体験することで、年齢・学区を越えた仲間との出会い、地域の大人との出会い、地域にある資源への気づきなどを通じて、我がまち「清原」を体感し、「郷土愛」、「仲間の大切さ」や「出来る自分」を認識することで、子どもたちのチャレンジ精神や郷土に対する誇りと愛着を育む。	地域内小学生	8月	1回
		企業体験教室	小学生を対象に清原工業団地の企業と連携した工場見学会等を実施し、「日本のものづくり」の偉大さを感じてもらおうとともに、日本を代表する企業が地域にあることの“誇り”を持つことで地域の将来を担う子どもの地域愛を育て、地域づくりの推進につなげる。	地域内小学生	7月～2月	2回
②家庭・地域の教育力の向上に資する講座の実施	家庭教育	◎ふれあい子育て広場	保護者の家庭教育力の向上を図るため、親子遊びの体操などを通じたスキンシップなど、幼児期の成長に役立つ赤ちゃんとの関わり方、母親自身の心と体の健康等について学び、子育てに必要な知識を習得し、子育ての不安を解消するとともに、交流する親同士の子育てネットワーク作りの推進を図り、保護者が自信を持って子育てができるようにする。	0歳～未就園児とその保護者	6月～12月	8回
		情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時
③学習情報などの情報発信の充実	学習相談・地域支援	学習相談・地域支援	相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどに取り組みながら、相談者のニーズに応じた学習活動を実施する。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	全市民	通年	随時
		地域における学習活動の推進	地域リーダー研修会	地域のまちづくり活動を推進するため、地域活動や課題解決のための知識・情報を提供することにより、地域リーダーの資質向上を図る。	清原地区内の指導者 自治会長、自治公民館長、地域まちづくり組織の役員等	通年
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進	青少年指導者・育成者研修会【CKP】 (Vスタッフ企画運営講座)	子育て世代が急増する中、地域コミュニティの希薄化や担い手確保などの課題解決を図るため、地域で青少年の教育及び育成に携わっている住民・団体等を対象に、地域ぐるみで子育てに関わる大切さへの意識醸成や、指導者の資質の向上、各種関係団体の一層の連携強化などに向けた研修会を開催する。	地域内青少年育成関係者	6月・12月	2回
		清原地区文化祭	清原生涯学習センターの利用団体が、日ごろの成果を発表することにより、文化活動の向上と生涯学習を推進する機会とする。	清原生涯学習センター利用団体	10月	1回
		成人式	新成人が地域のひととともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1回

(8) 横川生涯学習センター



所在地	宇都宮市屋板町 576 番地 1
電話番号	028-656-6452
ファクス	028-656-7702
開設	昭和 29 年 9 月 25 日
施設複合化	平成 18 年 3 月 20 日
対象区域	横川中央・横川東・横川西小学校の各通学区域と瑞穂台小学校通学区域のうち、さるやま町及び下栗町の区域

ア 平成 29 年度 横川生涯学習センター基本方針

地区の中心部が農村地域，周辺部（東部・西部）が住宅地域となっている横川地区は，市中心部にも比較的近いことから，近年は人口及び世帯数の増加が見られ，特に若年層の割合が本市平均と比べると高くなっていることから，連帯感の醸成などが身近な課題となっている。

このような状況を踏まえ，平成 29 年度においては，以下の考え方に基づき，事業を展開していく。

- (ア) 若年層が増加している状況を踏まえ，若年層で関心の高いテーマを選定した講座を開催し，生涯学習への意欲の醸成に資する。
- (イ) 子どもを心豊かで健やかに育むとともに，親が子育ての知識や技術を身につけるための講座を実施することにより，地域の教育力の向上を図る。
- (ウ) 地域の高齢者向けの講座を開催し，健康で生きがいのある豊かな生活を送ることができるようにする。

イ 平成29年度 横川生涯学習センター事業計画

事業名に★が付いているものは平成29年度新規事業、◎が付いているものは平成29年度重点事業、ゴシック体で表記のものはVスタッフ企画運営講座、【CKP】は地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する講座の実施	青少年教育					
	夏休みチャレンジ教室	ものづくり体験学習を通し仲間づくりや社会性を身につけ、地域内児童の豊かな情緒を育む。	地区内の小学校児童	夏休み	2回	
	成人教育					
	ことぶき塾 (Vスタッフ企画運営講座)	これまでの高齢者の日常生活に関わる社会的課題の内容の講座を、Vスタッフ企画講座で開催する。また、宇都宮市の魅力を深く追究する館外学習講座と高齢者が笑顔でいきいきと豊かな生活を送れるような講座を開催することにより高齢者の生きがい創出の支援をする。	地区内の高齢者	6月～1月	6回	
	◎★輝いた人生を手に入れよう	断捨離をすることで、快適な生活や人生を取戻し、これからの自分の人生のイメージをすることで、生活の質の向上やゆとりある輝いた人生を送る力を身に付けられるような講座を開催する。また、これからの人生で活躍できる場所の選択肢として、まちづくりや地域活動の担い手などがあることを伝えていく。	地区内の成人	9月	1回	
②家庭・地域の教育力の向上に資する講座の実施	家庭教育					
	子育て広場	乳幼児期の大切な時期に親子のスキンシップを図るとともに、ボール遊びやリズム体操、レクリエーションを通して体力・情緒を豊かに育み、地域と同じ子育て時期の人と知り合う場、情報交換の場として支援する。	地区内の2・3歳児とその保護者	6月～7月	7回	
	子育てルーム	子育てにおいて大切な乳児期に、絵本の読み聞かせや体操などによるスキンシップにより、情緒豊かな子どもを育てるとともに、地域での子育て仲間との交流を通して、子育ての支援を図る。	地区内の乳幼児と保護者	6月	2回	
③学習情報などの情報受発信の充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
	学習相談・地域支援					
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	全市民	通年	随時	
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	横川ふれあいまつり(文化祭・農業祭)	横川生涯学習センター利用団体や地区内の小中学校及び各種団体が一体となり、特色ある地域文化の向上、農業の振興、生涯学習の推進、主体的な地域づくりの推進、地域住民の連帯意識の高揚を図る。	地区内の小中学生、横川生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	
	成人式	新成人が地域のひとともに成人式を作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	

(9) 瑞穂野生涯学習センター



所在地	宇都宮市下桑島町 1030 番地 1
電話番号	028-656-4250
ファクス	028-656-7704
開設	昭和 26 年 4 月 1 日
施設複合化	平成 4 年 4 月 13 日
対象区域	瑞穂野北・瑞穂野南小学校の各通学区域と瑞穂台小学校通学区域のうちさるやま町及び下栗町を除く通学区域

ア 平成 29 年度 瑞穂野生涯学習センター基本方針

瑞穂野地区においては、まちづくり協議会を組織する各種団体が中心となりさまざまな活動を展開している。

また、新たな団地が形成されたことで若い世代の人口増加していることから、子育て支援や地域との絆づくりを迅速、着実に推進する必要がある。

一方で、少子高齢化社会や核家族の進行などにより、地域コミュニティの希薄化なども顕在化し、人間生活の核である家庭の重要性が一層高まってきている。

こうしたことから、幼児から高齢者までの幅広い世代を対象に、地域住民が健康で生き生きとした生活ができるよう、また学んだ結果が地域活動に結びつくきっかけとなるような事業の充実と地域課題解決に向けた講座を展開する。

イ 平成29年度 瑞穂野生涯学習センター事業計画

事業名に★が付いているものは平成29年度新規事業、◎が付いているものは平成29年度重点事業、ゴシック体で表記のものはVスタッフ企画運営講座、【CKP】は地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する講座の実施	青少年教育					
	少年ふるさと教室	体験活動等を通して、リーダーとしての資質向上と育成を図る。	地区内小学生	5月 1月	2回	
	親子チャレンジ教室	家庭で子どものしつけや教育を行うために必要な考え方や育て方について、専門家や地域のボランティアによる指導を受け学習の場とする。 親子でいろいろなことにチャレンジしながら、受講生同士の交流を通して、気軽に話し合える場を設け子育ての一助とする。体験活動等を通して、リーダーとしての資質向上と育成を図る。	地区内小学生とその保護者	7月～12月	4回	
	成人教育					
	◎地域学「みずほの」	地域の歴史や文化などを学ぶことにより郷土への関心や愛着心を高め、地域の魅力や課題に気づききっかけを作るとともに、まちづくり意識の高揚と地域リーダーの育成を図る。	地区内に居住する一般成人	10月 12月	2回	
②家庭・地域の教育力の向上に資する講座の実施	家庭教育					
	なかよし親子の広場	幼児期の成長に必要な遊びや体験を通して、親子のふれあいを深めるとともに、親子双方の育ちを支援する。また、子育てに必要な知識の習得と子育ての不安を解消し、地域の子育て支援機能の充実を図る。	就学前の幼児と保護者	6月	4回	
	◎子育てはっぴー講座	乳児期の大切な時期に親子のスキンシップや学びを通して、家庭における子育て力の向上を図るとともに、親同士の子育てネットワーク作りの推進を図る。	乳児と保護者	9月	2回	
③学習情報などの情報受発信の充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
	学習相談・地域支援					
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	全市民	通年	随時	
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	【みずほのフェスティバル】瑞穂野生涯学習センター文化祭(同時開催:農業祭・福祉まつり)	センター利用団体の学習成果の発表、小中学生の作品展示等の生涯学習の推進及び特色ある地域文化の向上発展、地域による主体的な地域づくりの推進、並びに地域住民の連帯意識の高揚を図る。	地区内一般成人・センター利用団体	11月	1回	
	成人式	新成人が地域のひととともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	

(10) 城山生涯学習センター



所在地 宇都宮市大谷町 1059 番地 5

電話番号 028-652-4794

ファクス 028-652-5570

開設 昭和 24 年 10 月 17 日

施設複合化 平成 6 年 4 月 1 日

対象区域 明保・城山中央・城山西・
城山東小学校の各通学区

ア 平成 29 年度 城山生涯学習センター基本方針

第 2 次宇都宮市地域教育推進計画に掲げる基本理念の実現のために、個人の興味や関心による学習活動への支援を継続しつつ、ひとづくりやまちづくりについて、早急に取り組むべき課題に対応するための講座や、家庭・地域の教育力の向上、地域の持つ魅力や課題に気付くきっかけとなる講座を実施し、学習した成果を地域につなげ、地域を支える人材育成につながる事業に取り組む。

イ 平成29年度 城山生涯学習センター事業計画

事業名に★が付いているものは平成29年度新規事業、◎が付いているものは平成29年度重点事業、ゴシック体で表記のものはVスタッフ企画運営講座、【CKP】は地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業の概要				
	事業区分 事業名	内容	対象	時期	回数
①人間力の向上に資する講座の実施	青少年教育				
	親子でにこにこクッキング	料理を通して、親子の絆を深めるとともに、命の源である食に対する興味や健康意識を高める。	地区内ならびに近隣の小学校の児童と保護者	7月、9月	2回
	成人教育				
	ヒトマチづくり講座	地域におけるまちづくりの課題を抽出し、解決の糸口となるようなきっかけづくりを行い、地域で活躍できる人材の育成を図る。また、実践的な活動を通し、地域まちづくり意識の高揚を図ることを目指す。	地区内住民	1月、2月	2回
	地域学講座	地域に目を向け、地域の持つ魅力や課題に気づききっかけづくりを行い、郷土愛の醸成や問題解決するための住民意識の高揚を図る。	地区内住民	6月～12月	4回
②家庭・地域の教育力の向上に資する講座の実施	家庭教育				
	◎ともそだち広場	乳幼児の保護者と乳幼児が季節の行事やレクリエーションを通して、親子のふれあいや人との関わりを学ぶ。また、子を持つ親同士やそれを取り巻く地域の人々、行政等の相互のネットワーク化を推進していくことで、地域の絆や人との繋がりを持たせられるように親子の育ちを支援していく。	乳幼児とその保護者	4～2月	10回
	ママの生き生きセミナー	家庭における子どもの教育に必要な知識・技術を学ぶとともに、受講者同士の交流を通して子を持つ親同士のネットワーク化を推進し、家庭教育力の向上と健全な子育てを支援する。	地区内ならびに近隣の小中学校の保護者	2月	1回
③学習情報などの情報受発信の充実	情報収集・提供				
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時
	学習相談・地域支援				
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	全市民	通年	随時
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進				
	城山生涯学習センター文化祭	地域住民の自主性と創意によるコミュニティ活動を促進し、特色ある地域文化の向上発展と生涯学習の推進、地域住民の連帯意識の高揚を図る。	城山生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日

(11) 国本生涯学習センター



所在地 宇都宮市宝木本町 1868 番地 1

電話番号 028-665-2942

ファクス 028-665-7225

開設 昭和 25 年 7 月 20 日

施設複合化 平成 12 年 10 月 1 日

対象区域 国本中央・国本西・
晃宝小学校の各通学区域

ア 平成 29 年度 国本生涯学習センター基本方針

「平成 29 年度生涯学習センター事業運営の考え方」に基づき、主に地域人材と地域資源を活かして、「地域で活躍できる人づくり」と「絆づくり」を目的とした事業に取り組む。

(ア) 社会の要請に対応した事業の実施と人間力の向上と地区づくりに資する事業の充実

(イ) 地域の人材と資源を活用し、市民の生活課題に対応した事業の実施

(ウ) 親子や地域の人同士の絆を深めながら、仲間づくりなど参加交流機会を
図る事業の実施

イ 平成29年度 国本生涯学習センター事業計画

事業名に★が付いているものは平成29年度新規事業、◎がついているものは平成29年度重点事業、ゴシック体で表記のものはVスタッフ企画運営講座、【CKP】は地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する講座の実施	青少年教育					
	くにもとyou・遊・club	国際化社会の進展や2020年の東京オリンピック開催に向けた外国人との交流機会の増加が見込まれる中、将来を担う小学生に対して外国の言葉や生活習慣、文化に触れてもらうことにより、国際感覚や多文化共生意識を身につけてもらうとともに、併せて人権意識の醸成を図る。	地区内在住の児童	6～8月	3回	
	★夏休みチャレンジ教室【CKP】	地域内の大学と連携を図り、小学生の夏休みの宿題に役立つ絵画や工作などをグループで学ぶことにより、他学年、他校の児童と交流し、仲間作りの場とする。	地区内在住の小学生	7～8月	2回	
	成人教育					
	びびっと！レディース教室（Vスタッフ企画運営講座）	女性としてより生き生き（vivid）と輝き、心身ともに美しく、人間力ある健康で豊かな生活を営める自分を再発見する機会を提供しながら、女性同士の交流の輪を広げ、さらに女性にできる地域のまちづくり活動にも繋げる。	地区内在住の一般成人女性	12～2月	3回	
	生き生き健康教室	「心身の健康」をテーマに、それぞれの年齢に応じた生きがいのある元気で生き生きとした生活を営むために必要な知識と体力を身につけるとともに、交流を通じて地域の絆を深め合う。	地区内在住の一般成人	6～7月	5回	
高齢者の健康講座【CKP】	平成26年度に策定された「国本地域ビジョン」の実現に向け、地域課題解決のための講座をワンテーマ3年計画で開催する。平成27～29年度は、喫緊の課題である「高齢者の健康増進」と「防犯・防災」をテーマとした講座を開催することで、健康と防犯・防災に対する意識高揚を図り、高齢者が健康で安心して暮らせるまちづくりを目指す。	地区内在住の高齢者	12月	1回		
②家庭・地域の教育力の向上に資する講座の実施	家庭教育					
	親子ワクワク教室	親子で様々な体験等を通して絆を深めるとともに、同世代の親や子どもと繋がりを持ち、子育ての悩みや知識を共有することで、家庭や地域内での子どもに対する教育力の向上や互いの人間形成に役立てる。	地区内在住の未就学児と保護者	6～12月	7回	
③学習情報などの情報受発信の充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
	学習相談・地域支援					
学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	全市民	通年	随時		
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	◎10倍楽しむ国本塾	地域の人材が講師となり、地域の歴史・文化資源などについて学ぶ地域学講座を通じ、地域課題を考えるきっかけ作りを行うとともに郷土愛の醸成を図る。	地区内在住の一般成人	2月	3回	
	★人車鉄道の歴史を探る【CKP】	地域の歴史・文化資源について、地域の人材や地域関係者の協力を得ながら整理・紹介して地域情報の共有を図り、改めて地域を見直し、ふるさと再発見探訪に繋がる人材の育成を図る。	地区内在住の一般成人	6～8月	3回	
	国本生涯学習センター文化祭	センター利用団体の学習成果の発表の場を提供することで、文化活動の向上と生涯学習を推進する。	国本生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	

(12) 富屋生涯学習センター



所在地 宇都宮市徳次郎町 80 番地 2

電話番号 028-665-1663

ファクス 028-665-7226

開設 昭和 24 年 12 月 1 日

施設複合化 平成 9 年 4 月 1 日

対象区域 富屋小学校通学区域

ア 平成 29 年度 富屋生涯学習センター基本方針

富屋地区においては、まちづくり連絡協議会を核とした地域主体の事業展開がなされており、これを継続するため、今後も「住民主体のまちづくり」を推進していくための人材育成が、一層求められている。

こうしたことから、平成 29 年度においても、住民自らが地域に目を向け、地域の持つ魅力や課題に気づく契機とするための地域学講座への参画を通して、地域社会を支える「人づくり」を推進するため生涯学習事業の充実に努める。

また、当センターが保健福祉の拠点であるという特徴を活かし、まちづくり支援グループと保険福祉グループが連携を図り、特色ある事業を展開していく。

イ 平成29年度 富屋生涯学習センター事業計画

事業名に★が付いているものは平成29年度新規事業、◎がついているものは平成29年度重点事業、ゴシック体で表記のものはVスタッフ企画運営講座、【CKP】は地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業の概要				
	事業区分 事業名	内容	対象	時期	回数
①人間力の向上に資する事業の充実	青少年教育				
	少年ふるさと教室	子どもたちの自主活動を促進させるとともに、お互いの親睦を図り、団体活動を通して責任と協力の大切さを体得させ、併せて伝統文化や自然に対する学習機会を提供し、健全育成に資する。	富屋小学校児童等	11月～2月	4回
	考える力アップ講座	新しい面白さを発見できる実験やものづくりを通して、子どもたちが自ら考え、身の回りにあふれる科学に対する好奇心を高める。	富屋小学校児童等	7月、10月	2回
	成人教育				
	高齢者教室	高齢者相互の親睦とふれあいを広め、様々な課題に取り組むことにより教養を高める。	地区在住者	6月～2月	5回
	健康づくりハイキング	ハイキングを通じて健康増進と地域住民の交流を図る。	地区在住者	5月	1回
②家庭・地域の教育力の向上に資する事業の充実	★◎とみや女性学	富屋地区の女性への教養、学習の場の提供を通じ、地域のネットワークを広げるとともに、富屋地区のブランドを発掘、発信していくリーダー的な人材を育成し、女性の力で地域力アップを図る。	地区内の成人女性	5月～10月	6回
	家庭教育				
	親子ふれあい教室「富屋ママたち広場」	乳幼児とその保護者を対象に、遊びや体験を通して、親子のふれあいを深めるとともに、親同士のネットワークを促進し、家庭・地域における子育て環境の支援を図る。	地区の児童保護者、家庭教育に関心のある人	5月～10月	6回
③学習情報拠点としての充実	家庭教育学級	家庭における子供の教育のために必要な考え方や育て方についての知識や技術を学習する。	地区の児童保護者、家庭教育に関心のある人	6月、10月	2回
	情報収集・提供				
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時
	学習相談・地域支援				
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	全市民	通年	随時
	地域における学習活動の推進				
	とみや再発見 地域ガイド養成講座【CKP】	「住民主体のまちづくり」をさらに推進するため、地域住民が専門家の講義やグループワークを通して、自分の住む地域の特徴を理解し、地域の魅力や課題に気づくとともに、中長期的な地域のあるべき姿を考える契機とする。また、これらを後世に伝え、地域の魅力を発信し、解説できる人材を育成する。	地区在住者	6月～7月	5回
	とみやふるさとまつり(センター文化祭)	地域文化の発展向上と地域住民の連帯意識の高揚を図る。	富屋生涯学習センター利用団体及び地域住民	11月	1回
	成人式	新成人が地域のひととともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日

(13) 豊郷生涯学習センター



所在地 宇都宮市岩曾町 825 番地 1

電話番号 028-660-2340

ファクス 028-660-2270

開設 昭和 25 年 3 月 20 日

施設複合化 平成 8 年 4 月 1 日

対象区域 豊郷中央・豊郷南・豊郷北・
海道小学校の各通学区

ア 平成 29 年度 豊郷生涯学習センター基本方針

豊郷地区においては、地域まちづくり協議会の組織である各種団体が主体となり地域活動が活発に展開されている。

しかし、地域住民のコミュニティ意識や連帯感の希薄化、少子・超高齢化や都市化・核家族化の進行による家庭・地域の教育力の低下など、さまざまな課題も生じている。

このようなことから、地域の住民が郷土愛を持ち地域コミュニティの構築に結びつくような事業を推進するため、幼児から高齢者までの幅広い世代を対象に、学ぶことの喜びや仲間づくり・生きがいをいづくりにつなげる講座を実施し、人間力の向上や家庭の教育力の向上など、地域社会を支える人づくり、学んだ成果を地域活動に活かせる地域づくりに結びつくような事業を展開する。

イ 平成29年度 豊郷生涯学習センター事業計画

事業名に★が付いているものは平成29年度新規事業、◎がついているものは平成29年度重点事業、ゴシック体で表記のものはVスタッフ企画運営講座、【CKP】は地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業の概要				
	事業区分 事業名	内容	対象	時期	回数
①人間力の向上に資する講座の実施	青少年教育				
	わくわく体験教室	子どもの頃の体験や多くの人との出会いが、生きる力を育み人間力の向上を培うことから、学校、学年、学級を越えた仲間との交流や、生活体験・社会体験を通して自ら考え行動できる青少年の育成を図る。	地区内小学校3～5年生	5月～11月	6回
	成人教育				
	◎まほろば探検塾	地域の歴史や文化を学ぶことにより、地域の持つ魅力や課題に気づき、それを活かした地域の活動や課題解決につなげるとともに、学びを通じた仲間づくりを目指す。 【まちづくりに生かすためのプログラムを取り入れる】	地区内在住の成人	6月～11月	5回
②家庭・地域の教育力の向上に資する講座の実施	家庭教育				
	子育て広場	子育ての学習やレクリエーションを通して、親子のふれあいを深め、生き生きとした親子関係を育むとともに、保護者同士の情報交換の場を提供し、子育て中の親の仲間づくりを図る。	就学前の幼児と保護者	5月～12月	6回
	◎親子講座 (Vスタッフ企画運営講座)	家庭を取り巻く社会情勢が変化するなか、子育てへの自信喪失や不安感を解消することにより、家庭における親の教育力の向上を図る。	1～3歳の子を持つ保護者	9月～11月	3回
③学習情報などの情報受発信の充実	情報収集・提供				
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時
	学習相談・地域支援				
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	全市民	通年	随時
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進				
	◎イクメン応援講座 【CKP】	父親の育児参加を促し、父母共通した子育ての知識や技術を身につけるとともに、母親がリフレッシュし心の安定を図れる機会を提供する。	1～3歳の子を持つ保護者	9月～10月	2回
	とよさと元気塾 【CKP】	高齢者が社会環境の変化に対応し、明るく潤いをもって生活できるよう、生活に役に立つための知識や技能を身につけるとともに、健康づくりや生きがいづくり、仲間づくりを支援する。	地区内在住60歳以上の市民	5月～11月	6回
	豊郷まつり (センター文化祭)	センター利用団体の学習成果の発表	豊郷生涯学習センター利用団体	11月	1回
	成人式	新成人が地域のひととともに成人式を作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日

(14) 篠井生涯学習センター



所在地 宇都宮市下小池町 466-1

電話番号 028-669-2515

ファクス 028-669-2972

開設 昭和26年 1月26日

施設複合化 平成 3年 4月 1日

対象区域 篠井小学校通学区

ア 平成29年度 篠井生涯学習センター基本方針

篠井地区は、古くから豊かな自然に恵まれ、世代間の交流を大切にし、歴史と伝統が大切に守られてきた地域である。近年では、篠井ニュータウンの新たな住民も加わり、まちづくりの活動を通じて人と人との輪が広まってきた。

しかし、篠井地区では少子化・高齢化が顕著になってきており、地域の課題となっていることから、篠井地区においても地域まちづくり組織による「地域まちづくり計画(地域ビジョン)」を平成29年度から策定することとした。

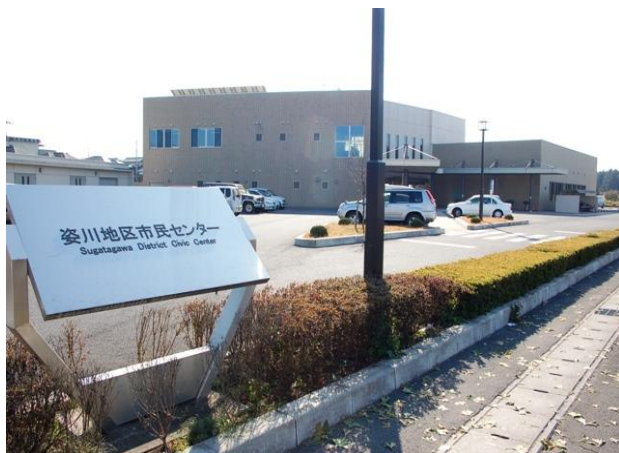
このため、平成29年度においては、学びを通して豊かな人間性を育み、地域教育の向上を図る講座、子育てに関する仲間づくりや家庭教育を学ぶ体験的な講座、地域の優れた魅力や課題を捉える地域学講座などに取り組むなど、地域の人材育成とともに、地域まちづくり組織と連携して活気ある「元気で魅力ある篠井」を目指し、地域の一体感を醸成するためコミュニティ形成を推進する。

イ 平成29年度 篠井生涯学習センター事業計画

事業名に★が付いているものは平成29年度新規事業、◎が付いているものは平成29年度重点事業、ゴシック体で表記のものはVスタッフ企画運営講座、【CKP】は地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業の概要				
	事業区分 事業名	内容	対象	時期	回数
①人間力の向上に資する講座の実施	青少年教育				
	★少年大空教室 (Vスタッフ企画運営講座)	郷土の伝承、文化、自然に関する学習活動をすることにより、心身の成長を促し、郷土愛の醸成を図る。また、将来を担うリーダーを育てるため、地区外の生涯学習等に関連する情報を研修するため、高学年を対象にリーダー研修会を実施する。【講座周知の強化】	小学校児童	8月～2月	7回
	成人教育				
	輝き人生教室	余暇の有効活用、健康の維持増進、世代間交流を通して健康で生き甲斐のある充実感溢れた生活を送る力を身につける。	高齢者	6月～1月	11回
	◎地域力アップ教室	地域の活性化を図るため、これから地域の中心となる人材が不可欠であるため、地域内の資源活用や課題解決に取り組み、まちづくりに活かせる人材を育成する。 【①リーダーの発掘と養成、②地域づくりの意識の醸成、③地域ビジョン策定連携等について、より考慮した内容とする】	一般成人	7月～11月	5回
②家庭・地域の教育力の向上に資する講座の実施	家庭教育				
	ワクワク子育て仲間づくり	家庭において子どもの教育を行うために、考え方や育て方について必要な知識や技術を身に付け、親子ともに参加できる体験学習を通し親子のふれあいの場を提供する。	市内在住の0歳児～未就学児とその保護者	4月～3月	6回
	(仮)親子のいろいろ学び舎	親子または親同士がともに、生活における知識や技術が学べる講座を実施。また、講座を通して、受講者同士の交流を推進し、親子双方の育ちを支援する。 【講座周知の強化⇒近隣小中学校への周知】	地区内及び近隣の小中学校の保護者ならびに小学校児童	5月～2月	4回
③学習情報などの情報発信の充実	情報収集・提供				
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時
	学習相談・地域支援				
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	全市民	通年	随時
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進				
	篠井生涯学習センター文化祭	センター利用団体の学習成果の発表と団体間の相互交流を図る。	篠井生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日

(15) 姿川生涯学習センター



所在地	宇都宮市西川田町 805 番地 1
電話番号	028-658-1594
ファクス	028-659-9425
開設	昭和 26 年 12 月 1 日
施設複合化	平成 15 年 12 月 22 日
対象区域	姿川中央・姿川第一・姿川第二小学校の各通学区域と新田小学校の通学区域のうちみどり野町，針ヶ谷町，針ヶ谷 1 丁目及び若松原 3 丁目を除く区域

ア 平成 29 年度 姿川生涯学習センター基本方針

当地区の、「姿川地区将来ビジョン」に掲げた将来像（方向性）を実現するため、地域が抱えるさまざまな課題への取組みを地域と行政が協働して実現する必要がある。

そこで、身近にまちづくりを感じてもらえる内容の講座や地域の人材を多く活用する講座を開講し、地域まちづくりへの関心や参加意識を高めるとともに、地域力の向上も図っていく。

今年度については、「超高齢化社会」における課題への対応や「地域の人材育成」へ対応できる講座として「シニア倶楽部」において、引き続き教養講座と健康講座を実施し受講者の裾野を広げていく。また、「ふるさと教室」については、企業と連携するなど、より魅力的なプログラムを企画し、多くの参加者を募る。

イ 平成29年度 姿川生涯学習センター事業計画

事業名に★が付いているものは平成29年度新規事業、◎がついているものは平成29年度重点事業、ゴシック体で表記のものはVスタッフ企画運営講座

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する講座の実施	青少年教育					
	ふるさと教室	郷土の伝承・文化自然に関する学習活動や生活向上に関する実践的活動を通し、ふるさとを見直し、地域連帯感や郷土愛の精神を深め、子どもたちの健全育成を図る。また、学んだことを地域へ情報発信する役目も担えるよう地域ジュニアリーダーとしての養成を図る。講師の選定に当たっては民間企業も活用する。	地区内の小学4年生	7月～10月	5回	
	成人教育					
	姿川歴史教室	地区内の遺跡や文化財マップなどを取り入れた「姿川さんぽ」を活用し、「姿川地区の歴史教室」を開催する。地区内の歴史・文化を知ることにより地域の文化活動をPR、文化を創造する風土づくりや文化活動への動機づけを行う。平成29年度は、地域内の寺社を中心にめぐる。	地区内一般成人	5月	1回	
	◎シニア倶楽部	知識の習得、趣味、レクリエーション等を通して、年齢にふさわしい社会的能力を高め、いきいきとした毎日を過ごすきっかけづくりを目的に事業を展開する。講師の選定に当たっては民間企業も活用する。	地区内 概ね60歳以上の男女	10月	4回	
★スポーツ健康講座		地域の人が将来にわたり健康で過ごせるよう、市スポーツ推進委員などの協力を得ながら、ニュースポーツなど実技を実施し「1人1スポーツ」を目指す。	地区内一般成人	12月～1月	6回	
	男の料理教室 (地域人材育成講座)	身近なところで活躍されている方を講師に招き、「地域活動をはじめたい」「セカンドライフを充実させたい」「自分の住む地域と関りたい」と考えている方々に、“地域デビュー”の契機となる事業とすることを目的とする。	地区内の一般成人	7月～10月	3回	
	◎親子ふれあい広場	子育ての学習を通し、より充実した子育てを支援するとともに、レクリエーションを通じて親子の絆を深める。当センターの保健師・保育士のノウハウを活用し、乳児編・幼児編の2部構成により受講者のニーズにあった内容の講座を実施する。	乳幼児とその保護者	6月～3月	10回	
③学習情報などの情報受発信の充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
学習相談・地域支援						
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	全市民	通年	随時	
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	姿川地区文化祭	特色ある地域文化の向上発展並びに生涯学習の推進、地域による主体的な地域づくりの推進、及び地域住民の連帯意識の高揚を図る。	地区内一般市民及び姿川生涯学習センター利用団体	11月	1回	
成人式	新成人が地域のひととともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日		

(16) 雀宮生涯学習センター



所在地	宇都宮市新富町9番4号
電話番号	028-654-1013
ファクス	028-653-5646
開設	昭和28年12月1日
施設複合化	平成元年10月16日
対象区域	雀宮中央・雀宮東・雀宮南小学校の各通学区域, 新田小学校通学区域のうち針ヶ谷町及び針ヶ谷1丁目の区域, 五代小学校通学区域のうち北若松原1丁目, 北若松原2丁目, 五代2丁目の一部, 五代3丁目の一部, みどり野町, 若松原1丁目, 若松原2丁目及び若松原3丁目を除く区域

ア 平成29年度 雀宮生涯学習センター基本方針

雀宮地区においては、すばらしい自然、長い歴史の中で培われてきた豊かな人情と深い絆を糧に“健康で楽しく、生きがいを実感できる地域”を目指して策定された「雀宮地域ビジョン」の実現に向け、まちづくりに取り組んでいる。

このようなことから、一人ひとりが心豊かに生活できるよう、学ぶことの喜びや社会参加のきっかけとなる仲間づくりにつながる趣味・教養的な講座や子育て支援講座を継続的に実施するとともに、地域資源や地域の魅力を再認識し、地域のまちづくりに対する意識が高まるような地域学講座などを通して、地域社会を支える「人づくり」、「地域づくり」を進める。

イ 平成29年度 雀宮生涯学習センター事業計画

事業名に★が付いているものは平成29年度新規事業、◎が付いているものは平成29年度重点事業、ゴシック体で表記のものはVスタッフ企画運営講座、【CKP】は地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する講座の実施	青少年教育					
	青少年セミナー	自然に親しむ活動やものづくり活動を通して、なかまとの連帯感や責任感を養い、次世代を担うリーダーシップ精神を育む。	雀宮地区内の小学生	7月～10月	4回	
	地域わくわく子ども塾	雀宮地区の特性を活かし、宇都宮工業高等学校や陸上自衛隊宇都宮駐屯地との連携によるものづくりや体験学習を通して、科学・知識・技術への関心を高め、自主性、創造性を身につけるとともに、郷土愛の精神を深め地域づくりの礎を築く人材の育成を図る。	雀宮地区内の小学生	8月、3月	2回	
	成人教育					
	さわやか倶楽部	豊かな経験を引き続き社会に活かしながら、新しい知識や趣味をもつ契機となるよう学習の場を提供し、健康で生きがいのある豊かな人生を送るための支援を行う。	雀宮地区内の60歳以上の方	6月～11月	6回	
②家庭・地域の教育力の向上に資する講座の実施	ライフアップセミナー (Vスタッフ企画運営講座)	もっと学びたい、もっと知りたい現役世代(20歳～50歳代)の住民を対象に、現代的な課題などを興味や関心を持ちながら学習できるような場を提供し、新たなライフスタイルを送るきっかけづくりや、さらには学習を通じた新たな学びを促す機会とする。 【全2回のうち、1回をVスタッフ企画講座、1回を国際理解講座として実施予定】	雀宮地区内の一般成人 (特に20歳～50歳代)	7月、2月	2回	
	雀宮の歴史を学ぶ	地域に愛着を持ち、地域の魅力や特色を発掘し、新たな発見などまちづくり推進に向けた取組のきっかけとするため、雀宮地区の歴史、伝統文化を学習する。また、実施においては地域行事と連携し、充実を図る。	雀宮地区内の一般成人	11月	1回	
	親子ふれあい広場	親子のスキンシップを通して、よりよい子育ての知識と技能を身につけ、家庭の教育力の向上を図るほか、育児の喜びや悩みを共有できる仲間との交流を図る。 【全6回のうち、1回を親学出前講座として実施予定】	雀宮地区内の未就学児とその保護者	6月～12月	6回	
③学習情報などの情報発信の充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	学習相談・地域支援					
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	全市民	通年	随時	
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	◎雀宮地域学講座	「NCC形成」や「雀宮地域ビジョン」の実現に向け、自分の住む地域の魅力や課題に気づき、学ぶ機会を提供することで、地域に対する理解や愛着を深め、まちづくりに対する意識の醸成を図る。	雀宮地区内の一般成人	2月	1回	
	雀宮地域文化祭・収穫祭	「ふるさと雀宮」の特色ある地域文化の向上発展と豊かな農産物の収穫を祝い、地域の連帯意識の高揚を図ることを目的とする。	雀宮地区内一般市民と雀宮生涯学習センター利用団体	11月	1回	
	成人式	新成人が地域のひととともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	

(17) 上河内生涯学習センター



所在地 宇都宮市中里町 181 番地 3

電話番号 028-674-3140

ファクス 028-674-3139

開 設 昭和 49 年 4 月 1 日

対象区域 上河内東・上河内西・上河内
中央小学校の各通学区域

ア 平成 29 年度 上河内生涯学習センター基本方針

上河内地域における資源や特性、住民ニーズなどを踏まえ、個人の要望に応える事業と社会の要請に応える事業のバランスを配慮しながら、多様な事業を推進する。事業の実施にあたっては、関係部局や関係機関団体と連携を図り、とりわけ地域の課題解決や活性化につながる事業については地域まちづくり推進団体とともに取り組んでいく。

- (ア) 住民一人ひとりが心豊かに生活できるよう、学ぶことの喜びや社会参加のきっかけとなる趣味・教養的な講座を地域課題や生活課題を十分に盛り込みながら継続していく。
- (イ) 「人づくり」の基本となる家庭と地域の教育力の向上を図るため、家庭や親の役割や責任、子どもとの関わり方などについて保護者の気づきを促す講座や親子双方の育ちを支援するための講座を実施する。
- (ウ) 地域資源や地域の魅力を再認識し、地域のまちづくりに対する意識が高まるような地域学講座などを通して、地域社会を支える人材の発掘や育成に取り組んでいく。

イ 平成29年度 上河内生涯学習センター事業計画

事業名に★が付いているものは平成29年度新規事業、◎が付いているものは平成29年度重点事業、ゴシック体で表記のものはVスタッフ企画運営講座、【CKP】は地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業の概要				
	事業区分 事業名	内容	対象	時期	回数
①人間力の向上に資する講座の実施	青少年教育				
	子どもチャレンジ教室	工作等によりものを作り上げることで達成感を得、新たな発見や工夫する楽しさを知る機会を提供する。	市内在住の小学生とその保護者(小学1～3年生は保護者同)	7月～8月	3回
	成人教育				
	異国の家庭料理で多文化理解	市内に在住している外国人の家庭料理をいっしょに作り、食することにより相手文化に触れ、理解しあう機会をつくる。	市内在住・通勤の成人	5月～6月	4回
	★ 古典に学ぶ (Vスタッフ企画運営講座)	日本の歴史上の人物(概ね鎌倉時代以降)を取り上げ、その業績や時代背景を詳しく学ぶことにより、現代の課題解決につながるヒントを探る。蒲生 君平を予定。	市内在住・通勤の成人	9月～11月	3回
	◎ライフアップセミナー in かみかわち	時宜を得たテーマや生活上の課題について学習することにより、知識・教養を身に付け、実生活に役立てる。 平成29年度は、地元郷土への愛着を促進するため、地元を題材とした企画を取り入れる。	市内在住・通勤の成人	7月～10月	8回
ライフアップセミナー in かみかわちスペシャル	ライフアップセミナーinかみかわちの特別企画として、ライフアップセミナーの受講生以外にも門戸を開き、ともに楽しみながら社会の要請に対応したテーマを学習する。	市内在住・通勤の成人	11月	1回	
	パソコン講座	パソコンを3回シリーズで楽しむ ①ワードで文章作り、デジカメ活用 ②エクセルでいろいろなデータを管理しよう ③年賀状を作ろう	市内在住・通勤の成人	① 7月 ② 9月 ③ 12月	3回 3回 3回
②家庭・地域の教育力の向上に資する講座の実施	家庭教育				
	◎子育て親育ち講座	家庭や親の役割、子どもとのかかわり方などについて学び、また子育て中の多くの親同士の交流をとおし、家庭の教育力向上に資する。 平成29年度は、子育て親育ちの対象者を絞り、効果的な内容として開催する。	市内在住の満1歳以上就学前の乳幼児と保護者	5月～6月	6回
③学習情報などの情報受発信の充実	情報収集・提供				
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を積極的に収集、提供する。	全市民	通年	随時
	学習相談・地域支援				
	学習相談・地域支援	相談者の様々なニーズに応じて情報提供や助言をするなど、学習活動を具体的に支援する。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行う。	全市民	通年	随時
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進				
	上河内地域文化祭	地域の幼稚園、保育園、小中学校の児童生徒及び生涯学習センター利用団体の作品を一堂に展示し、またセンター利用団体をはじめ地域の方々が目まぐるしく学習成果をステージ発表することにより、地域文化の向上と生涯学習推進の機会とする。	上河内生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業とする。	新成人	1月	1日

(18) 河内生涯学習センター



所在地 宇都宮市中岡本町 3221 番地 4

電話番号 028-671-3201

ファクス 028-671-3220

開設 昭和 53 年 4 月 1 日

複合施設化 平成 28 年 3 月 22 日

対象区域 岡本・白沢・田原・岡本西・岡本北・
田原西小学校の各通学区域

ア 平成 29 年度 河内生涯学習センター基本方針

身近な生涯学習の拠点として様々な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに社会環境が急激に変化する中において、社会の要請に対応する事業や人間力の向上、家庭・地域の教育力の向上に資する事業に取り組んでいく。

(ア) 地域の魅力を発見できる事業の充実を図る。

(イ) 地域の人材等を活用した講座を実施するとともに地域で活躍できる人材の育成に努める。

(ウ) 仲間づくりや交流の場を提供し、人と人との絆づくりを推進する。

(エ) 人間力の向上や家庭教育力の向上に資する事業を積極的に展開する。

イ 平成29年度 河内生涯学習センター事業計画

事業名に★が付いているものは平成29年度新規事業、◎が付いているものは平成29年度重点事業、ゴシック体で表記のものはVスタッフ企画運営講座、【CKP】は地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する講座の実施	青少年教育					
	オモシロ夏休み	小学校高学年の児童を対象に、充実した夏休みを計画的に生活させることを目的に講座を開設する。	市内在住の小学4・5・6年生	8月	4回	
	成人教育					
	かがやくセミナー	受講生がお互いの連帯感を深め、学び合い励まし合って健康で生きがいのある人生を送れるようになることを目的とする。	一般成人	7月～1月	5回 館外含む	
	美と健康きらめき講座	自身の健康・生活・言葉・マナーなどさまざまな分野で、女性が素敵に輝ける知識・教養を実体験を交えながら習得する。さらには、若い世代の住民同士のつながりを深めるきっかけ作りとする。	市内在住の成人女性	6月～8月	3回	
	男の料理講座	健康を維持していくための家庭料理を習得し、家族団らんの持てる料理に関心を持つ男性が増加すること、仲間づくりのきっかけ作りを目的とする。	市内在住の65歳以上の男性	未定	3回	
◎いきいき河内発見講座	河内の自然や文化等を学ぶことによって、地域の良さを再発見しながら地域活動に関心を持つ「きっかけ」づくりとする。	未定	未定	未定		
②家庭・地域の教育力の向上に資する講座の実施	家庭教育					
	ワクワク子育て講座	子育てに役立つ基礎知識を学ぶとともに健康で心豊かに育てる家庭環境づくりをテーマとする。※託児あり	就学前の幼児をもつ親	8月～2月	4回	
	◎子育て広場1	「こころ・からだ・健やか」をテーマに、季節の行事やレクリエーションなどを通して、親が乳幼児期の大切さを認識した子育てが出来るようにするとともに、親同士・子同士の交流の中で受講生同士のネットワークが築けるよう、子育ての支援を行う。※相談タイムあり	市内在住の乳幼児とその保護者	6月～8月	3回	
◎子育て広場2			12月～2月	3回		
③学習情報などの情報発信の充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
	学習相談・地域支援					
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	全市民	通年	随時	
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	河内地域文化祭	河内地域内の芸術文化活動にかかわる人達が一堂に会して、相互の交流を深め、その活動を披露し、地域の芸術文化の向上に寄与することを目的として文化の祭典を実施する。	団体及び一般市民	11月	1回	
	成人式	新成人が地域のひととともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	